

平成20年8月20日  
独立行政法人  
日本原子力研究開発機構  
敦賀本部

高速増殖原型炉もんじゅのプラント確認試験等の工程について  
(プラント確認試験の終了時期等の変更)

高速増殖原型炉もんじゅ（高速増殖原型炉：定格出力28.0万kW）は、平成19年8月31日より、長期間停止している機器・設備も含め、プラント全体の健全性確認を行う「プラント確認試験」を実施してきましたが、この終了時期を平成20年8月から平成20年10月に変更し、その後の性能試験については、平成21年2月頃の開始を目指すこととしました。その際には、プラントの安全性の確保を最優先として、各種試験や作業等を実施してまいります。なお、性能試験の開始にあたっては、地元のご理解を得て、安全第一に透明性の確保を図りながら進めてまいります。

<試験工程の変更理由>

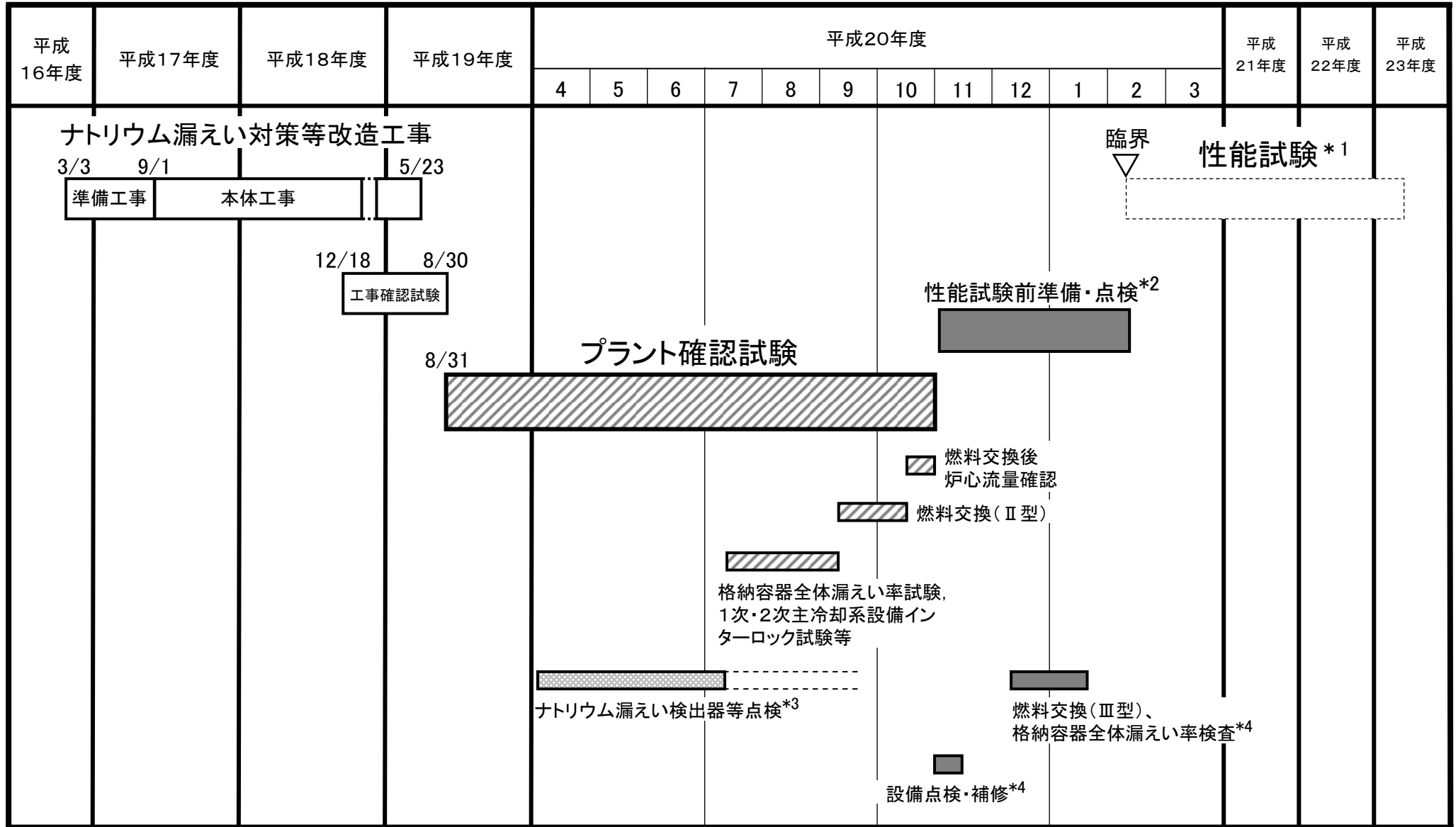
ナトリウム漏えい検出器等の点検作業が長期化したことなどにより、プラント確認試験の終了時期が約2ヶ月遅延する見通しです。

これに伴い、性能試験の開始時期も遅れ、現在炉心に装荷している初装荷燃料Ⅰ型及び保管中の初装荷燃料Ⅱ型では時間経過による炉心反応度減少に伴い、所要の性能試験（炉心確認試験）が実施できないため、新しく製造する初装荷燃料Ⅲ型の追加交換が必要となります。燃料の追加交換は平成20年12月頃となるため、性能試験前準備・点検を考慮すると、性能試験の開始時期は平成21年2月頃となる見込みです。

添付：「もんじゅ」主要工程（プラント確認試験等）

以上

# 「もんじゅ」主要工程(プラント確認試験等)



注) 状況によって工程の変更はあり得る。

- \*1 性能試験は、地元のご理解を得て実施することとし、約2年半の予定で炉心確認試験、40%出力プラント確認試験、出力上昇試験の3段階で行うことを予定。
- \*2 性能試験前準備・点検は、設備点検・補修、制御棒駆動機構の作動確認、燃料交換、格納容器全体漏えい率検査や系統別の弁・電源等の状況確認を実施する。
- \*3 点検報告書のとりまとめ作業等を継続中。
- \*4 今回の工程変更で、性能試験前準備・点検として追加した項目。